

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川A、B）

<阿武隈川A,B 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点						
A-1	○	○	○	○	○	○
A-2	○	○	○	—	○	—
B-2	○	○	○	—	○	—
B-3	○	○	○	—	○	—

<阿武隈川A,B 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他						
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)						
調査地点																		
A-1 (表層)	37.6210°	140.5218°	R4.12.9	08:50	09:25	6.1	8.0	シルト	5Y3/2	無	6.00	>50(1.5m)*						
A-1 (下層)				09:05		6.0												
A-2	37.5673°	140.3946°		10:50	11:00	6.8							7.9	礫混砂	10YR3/4	無	0.26	>50
B-2	37.8121°	140.5058°		14:50	14:55	9.0							9.0	砂	10YR4/2	無	0.66	>50
B-3	37.8182°	140.4679°		13:25	13:35	10.1							9.5	礫混砂	10YR4/4	無	0.50	>50

*: () 内の数値は、透明度を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点																
A-1 (表層)	37.6210°	140.5218°	R4.12.9	08:50	7.4	1.9	3.6	11.9	21.7	0.11	1.6	5	2.5	N.D. (0.0014)	0.0052	0.00072
A-1 (下層)				09:05	7.5	2.1	3.6	12.1	21.7	0.10	1.6	7	2.8	2.8	N.D. (0.0015)	0.021
A-2	37.5673°	140.3946°		10:50	7.6	0.6	2.1	12.7	11.6	0.06	0.9	<1	0.6	N.D. (0.0014)	0.0037	—
B-2	37.8121°	140.5058°		14:50	7.5	1.6	3.3	12.6	22.1	0.11	1.4	5	2.4	N.D. (0.0015)	0.0068	—
B-3	37.8182°	140.4679°		13:25	7.7	0.5	2.6	12.5	10.8	0.06	1.2	2	0.9	N.D. (0.0015)	0.0037	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)		
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)					
調査地点																							
A-1	37.6210°	140.5218°	R4.12.9	09:25	7.3	54	58.5	12.4	40.3	2.450	0.0	0.0	0.5	2.9	32.0	64.6	0.0026	2.0	14	620	0.44		
A-2	37.5673°	140.3946°		11:00	7.4	456	18.8	1.1	2.0	2.750	43.9	33.3	14.3	1.5	2.9	4.1	1.7	19	1.3	55	—		
B-2	37.8121°	140.5058°		14:55	7.4	484	26.6	1.8	2.5	2.720	0.0	0.5	42.7	45.1	6.5	5.2	0.22	2.0	2.2	81	—		
B-3	37.8182°	140.4679°		13:35	7.5	489	21.3	1.3	1.9	2.610	30.9	36.4	23.0	2.7	3.0	4.0	1.3	4.8	1.2	40	—		

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川A,B 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
A-1	阿武隈川本流	37.6210°	140.5218°	R4.12.3	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.013	—	—	—	53	N.D. (9.2)	53	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	9	0.045	未成魚	—	—	2.8	N.D. (1.0)	2.8	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.21	—	—	—	11	N.D. (1.5)	11
A-2	原瀬川	37.5673°	140.3946°	R4.12.3	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.017	—	—	—	220	N.D. (11)	220	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モシカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	163	0.013	幼虫	—	—	15	N.D. (3.3)	15	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ	59	0.015	幼虫	—	—	3.1	N.D. (2.6)	3.1	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ									
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒケナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	211	0.073	幼虫	—	—	7.2	N.D. (0.63)	7.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	9	0.030	未成魚	—	—	4.4	N.D. (1.7)	4.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.014	未成魚	—	—	2.8	N.D. (2.6)	2.8	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	—	12	N.D. (1.3)
B-2	阿武隈川本流	37.8121°	140.5058°	R4.12.1	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	2	2.9	成魚	不明消化物	内臓除去	5.5	N.D. (0.98)	5.5	0.49
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	サケ	1	3.4	成魚	空胃	内臓除去	N.D.	N.D. (0.29)	N.D. (0.25)	—
B-3	摺上川	37.8182°	140.4679°	R4.12.3	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.013	—	—	—	23	N.D. (2.4)	23	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モシカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	607	0.040	幼虫	—	—	8.5	N.D. (1.1)	8.5	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ	370	0.025	幼虫	—	—	N.D.	N.D. (1.7)	N.D. (1.4)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	4	0.044	未成魚	—	—	1.3	N.D. (1.2)	1.3	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	—

※1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名で下線で示した。

※4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。